

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 9月 30日

事業所名:通所支援事業所 山の家

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1			パーティション等で、やりたいあそびで分けられるようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	3	1				子どものニーズにこたえるために、より支援員を増やしたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				バリアフリー対応となっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		1			常勤で行っているのので、パートの方にも入ってもらえるようにしたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4					評価表での意見を反映していけるよう、業務改善していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4					公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				4		外部評価を行っていないので今後検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4					研修の機会も増えてきているので、参加したい研修に参加できるよう体制をつくる。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4					一人一人のニーズや障害特性を考慮し、一人一人に寄り添った計画を立てている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			1		一人一人の障害特性や環境などを理解するために、アセスメントシートを作成し、モニタリングを行っている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4					職員会議のなかで行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				子どもがやりたいことに寄り添えるように固定しないことを大切にしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1			長い時間がある時は普段できないような遊びを展開している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				個別から集団へ。集団から個別へとその子の状況に応じて対応できるようにしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4					支援開始前にアルバイトさんも含め、打合せの時間を確保している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4					支援終了後にはその日の支援を共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				記録を振り返りながら支援計画に活かしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4				時間を決めて行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	1				ガイドラインを読み合わせ、共通認識にする。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1			適宜おこなっている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1			適宜おこなっている。	
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					多機能で児発を行っていること。同法人に保育園があることで情報共有が出来ている。	
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4				今のところ事例がないが、今後連携していきたい。
	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1			適宜おこなっている。	
	25 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4				学童保育と併設なので絶えず交流をおこなっている。	
	26 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4				参加している。	
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				メールなどで日々の様子を送っている。	
28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1		1	2		面談等でケースアドバイスなどは適宜行っている。	
保護者への説明責任等	29 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				適宜おこなっている。	
	30 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4				要望があるたび、時間を取り、行っている。	
	31 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4				現状できていない。今後行っていきたい。
	32 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				苦情処理マニュアルに沿っておこなっている。	
	33 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2				会報などは出来ていないが、行事などの予定はメールなどで送信している。
	34 個人情報に十分注意しているか	4				職員間で共有できるようにしている。	
	35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1			状況に合わせて電話、メール、書面などで対応している。	
36 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2				今後検討したい。	
非常時	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1				
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				年2～3回の避難訓練を行っている。	
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				虐待防止研修を適宜うけている。またそれを職員におろしている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
等 の 対 応	40 やむを得ず身体拘束を行う場合に、どのよう に行うかを組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載している か			4			現状、身体拘束を行う児童がいないため記 載していない。
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされているか	3			1	保護者から聞き取りを行い、職員 に周知徹底している。	
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか	4				事例を作成し、職員内で周知して いる。	